

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-173237

(43) 公開日 平成8年(1996)7月9日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 5 D 34/00	5 1 0 B			
34/04	5 1 5 C			
B 0 5 C 17/00				

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-227902

(22) 出願日 平成7年(1995)9月5日

(31) 優先権主張番号 9 4 1 0 6 0 9

(32) 優先日 1994年9月5日

(33) 優先権主張国 フランス (F R)

(71) 出願人 391023932

ロレアル

LOREAL

フランス国パリ、リュ ロワイヤル 14

(72) 発明者 ジャンールイ・ゲレ

フランス75018パリ、リュ・エジェシップ

ーモロー15番

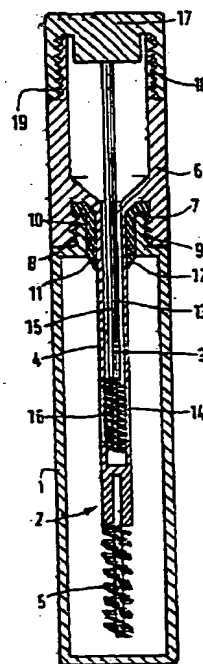
(74) 代理人 弁理士 青山 森 (外1名)

(54) 【発明の名称】 メーキャップ製品の保存および塗布用装置

(57) 【要約】

【課題】 中の製品が乾燥したり、または早期分解したりすることなしに、連続して2つのアプリケーターを使用することができるメーキャップ製品の保存および塗布用装置を提供する。

【解決手段】 1つの容器と2つのアプリケーターからなり、第1番目のアプリケーター(2)のロッド(4)の長さの少なくとも一部分が中空であり、第2番目のアプリケーター(3)の塗布素子(16)およびロッド(15)が収容される軸方向の中空(13)を規定しており、第1番目のアプリケーターのロッド(4)の壁に、前記軸方向の中空(13)を容器(1)の内容積と通じさせる少なくとも1つのスロット(14)を包含し、第2番目のアプリケーターのキャップ形態のグリップ素子(17)が第1番目のアプリケーターのキャップ形態のグリップ素子(6)と着脱可能に連結していることに特徴付けられるメーキャップ製品の保存および塗布用装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 1つの容器と、それぞれ一端にメーキャップ製品の塗布素子が設けられ、もう一端がキャップ形態のグリップ素子に結合されたロッドからなる2つのアプリケーションターを有し、第1番目のアプリケーションター(2)のロッド(4)の長さの少なくとも一部分が中空であり、第2番目のアプリケーションター(3、3a)の塗布素子(16、16a)およびロッド(15、15a)が収容される軸方向の中空(13)を規定しており、第1番目のアプリケーションター(2)のロッド(4)の壁が、前記軸方向の中空(13)を容器(1)の内容積と通じさせる少なくとも1つのスロット(14)を包含し、第2番目のアプリケーションター(3、3a)のキャップ形態のグリップ素子(17、17a)が第1番目のアプリケーションター(2)のキャップ形態のグリップ素子(6)と着脱可能に連結していることに特徴付けられるメーキャップ製品の保存および塗布用装置。

【請求項2】 少なくとも1つのスロット(14)が、第2番目のアプリケーションターが第1番目のアプリケーションター(2)に嵌め込まれている状態において第2番目のアプリケーションター(3、3a)の塗布素子(16、16a)の高さに設けられていることに特徴付けられる請求項1記載の装置。

【請求項3】 第2番目のアプリケーションター(3a)のロッド(15a)が、その長さの少なくとも一部分が中空であり、上部に該中空ロッド(15a)により該第2番目のアプリケーションター(3a)の塗布素子(16a)と通じている溜め(21)を有することに特徴付けられる請求項1または2いずれかに記載の装置。

【請求項4】 2つのアプリケーションターの少なくとも1つの塗布素子が眉毛ブラシ(5、16)であることに特徴付けられる、マスカラの保存および塗布用の装置である請求項1〜3いずれかに記載の装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はメーキャップ製品の保存および塗布用装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 多数のタイプのメーキャップ製品保存および塗布用装置が知られており、それは、メーキャップ製品の容器と、該容器に収納可能であって、メーキャップ製品の塗布用素子を一端に有し、もう一端にはアプリケーションターが嵌め込まれる容器の開口部を密閉することのできるキャップを同時に構成するグリップ素子を有する延伸したロッドを有するアプリケーションターからなる。

【0003】 異なる特性をもつ塗布素子を包含する2つのアプリケーションターからなる装置も知られており、それらは、そこに収容されている多量のメーキャップ製品を選択的に塗布する装置の該本体から連続的に引き出すことができる、それぞれのアプリケーションターの塗布素子の特性

により決定される様々な塗布条件に依存している。

【0004】 特に、それぞれのアプリケーションターの塗布素子がまつ毛ブラシからなっているかかる装置はマスカラの保存および塗布用として知られており、それらは、異なった寸法の2つのブラシがマスカラ容器の開口部を密閉することのできるキャップの形態で作られるグリップ素子に結合されているロッドの一端にそれぞれ固定されている。

【0005】 かかる装置の容器の構成は様々にもくろまれており、例えば、マスカラを塗布する場合、アプリケーションターが本体の2つの端において「頭と尾が接する」よう装着された延伸した形状(E P-A-0 365 273)または上部に2つの開口部を有し、該開口部にアプリケーションターが嵌め込まれ結合している塊の形態(D E-A-3240 152)がある。1つのアプリケーションターは一般的に長いまつ毛用に企画されたより大きなブラシからなり、もう1つは短いまつ毛用に企画されたより小さなブラシからなる。これら構成の全てにおいては、2つの開口部、使う人が慣れているものとは異なった形状および/または寸法、特に、従来装置よりずっと大きな長さの延伸した円筒形状を有する容器を提供する必要がある。さらに、容器における少なくとも1つの開口部が開いたままであったり、中の製品が乾燥したり、または早期分解したりすることなしに、連続して2つのアプリケーションターを使用することはできない。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、特に、上記欠点に損害を受けることなく、従来装置の外観をあまり変形しないで生産することのできる、異なった構成の2つのアプリケーションターを使用するメーキャップ製品の保存および塗布用装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段および発明の実施の形態】 本発明は、1つの容器と、それぞれ一端にメーキャップ製品の塗布素子が設けられ、もう一端がキャップ形態のグリップ素子に結合されたロッドからなる2つのアプリケーションターを有し、第1番目のアプリケーションター(2)のロッド(4)の長さの少なくとも一部分が中空であり、第2番目のアプリケーションター(3、3a)の塗布素子(16、16a)およびロッド(15、15a)が収容される軸方向の中空(13)を規定しており、第1番目のアプリケーションター(2)のロッド(4)の壁が、前記軸方向の中空(13)を容器(1)の内容積と通じさせる少なくとも1つのスロット(14)を包含し、第2番目のアプリケーションター(3、3a)のキャップ形態のグリップ素子(17、17a)が第1番目のアプリケーションター(2)のキャップ形態のグリップ素子(6)と着脱可能に連結していることに特徴付けられるメーキャップ製品の保存および塗布用装置に関する。

【0008】 本発明による装置は、その長さの少なくと

も一部分が中空であり、第2番目のアプリケーターの塗布素子およびロッドが収容される軸方向の中空を規定する第1番目のアプリケーターのロッドにより特徴付けられ、第2番目のアプリケーターのキャップ形態のグリップ素子は第1番目のアプリケーターのキャップ形態のグリップ素子に着脱可能に連結されている。

【0008】容器に入った製品が第2番目のアプリケーターの塗布素子に含浸できるように、第1番目のアプリケーターのロッドの壁には、その軸方向の中空と容器の内容物を通じさせる少なくとも1つのスロットがある。好ましくは、この少なくとも1つのスロットは、第2番目のアプリケーターが第1番目のアプリケーターに嵌め込まれている位置にある場合の第2番目のアプリケーターの塗布素子の高さに作られる。

【0010】本発明による装置の2つのアプリケーターの塗布素子は、同じ型であっても、異なった型であってもよい。

【0011】塗布されるべきメーキャップ製品によって、ブラシ、特にまつ毛ブラシ、毛抜き、またはフェールを用いればよく、これらは発泡体またはフェルト、例えばブロックプラスチック材料または多孔質、例えばフリット製である。

【0012】ある特定の具体例では、第2番目のアプリケーターのロッドも同様にその長さの少なくとも一部分が中空であり、容器に入ったメーキャップ製品とは異なった製品を保持することができる溜めをその上部に有する。該異なる製品とは、例えば、容器中のメーキャップ製品ののための加湿または希釈製品、または第2番目のアプリケーターで別個に先に塗布する様々なメーキャップ製品である。

【0013】本発明の理解を容易にするために、具体例を記述し、添付の略図を参照するが、本発明はこれらに制限されるものではない。

【0014】まず、本発明により製造されたマスカラの保存および塗布用装置を示す図1〜3を参照する。

【0015】装置は、延伸された管状の容器1とそれぞれ2および3で一般的に示される2つのアプリケーターからなる。

【0016】アプリケーター2は、下端で眉毛ブラシが固定されたロッド4であって、その他方が、アプリケーター2のグリップ素子としておよび容器1の密封のために同時に役立つ素子6と一体となっているロッド4からなる。キャップ形態のグリップ素子6は、その下端で開口部10の範囲を定める容器1のネック9の上部にあるおねじ8と協同できるめねじ7を有している。

【0017】一般的な型では、ネック9の高さでフェール11が設けられ、フェール11の下端は平頭部12を有し、これは第1番目のアプリケーター2の抽出動作中、マスカラが含浸したブラシ5を「絞る」部分として知られている。

【0018】第1番目のアプリケーター2のロッド4には、その長さの一部分が中空であり、ロッド4の壁に設けられるスロット14により容器2の内容物と通じている軸方向の中空13を有する。

【0019】第2番目のアプリケーター3は、その下部に第1番目のアプリケーター2のブラシ5より小径で短い眉毛ブラシ16が設けられているロッド15を有する。ロッド15はその上部でキャップ17と一体になっており、該キャップは第1番目のアプリケーター2のキャップ6の上端に設けられたおねじ19にキャップ17をねじで締めるためのめねじ18を有する。

【0020】第2番目のアプリケーター3のロッド15およびブラシ16は第1番目のアプリケーターのロッド4の軸方向の開口部13に嵌め込むことができるような寸法を取り、ロッド15の長さは、第2番目のアプリケーター3を第1番目のアプリケーター2に嵌め込み、それぞれのキャップをねじで締めることによりそれと一体にした場合に、第2番目のアプリケーターのブラシ16が本質的に第1番目のアプリケーターのロッドのスロット14の高さにある、図1に示される位置となるような長さである。

【0021】図3に示されるように、2つのアプリケーターにより構成される集成体を容器からはずす場合、スロット14および第2番目のアプリケーターのブラシ16が位置する第1番目のアプリケーターのロッド4の範囲が絞りをかける開口部12を通過し、その絞り開口部の高さに存在するマスカラはスロット14を通じてブラシ16に適用される。

【0022】かかる方法で、ブラシ16にはマスカラが充填され、図2に示唆するように、第1番目のアプリケーターの外に第2番目のアプリケーターを引き抜くことにより、使用者はマスカラを塗布することができる。

【0023】もちろん、2つのアプリケーターの集成体は互いにおよび容器に関して、必ずしも図示したごとくねじで締めることにより達成されるものではなくてもよく、本発明の範囲からはずれなければ、他の既知の方法、特にかちと締めることによる集成体を提供することもできる。

【0024】同様に、それぞれのアプリケーターの塗布素子に関して、本発明はいかなる意味においても示されている眉毛ブラシの構造には制限されない。

【0025】図4で示されている具体例では、容器1および第1番目のアプリケーター2は図1〜3に示されている最初の具体例と本質的に同様な構造を有している。

【0026】最も重要な違いは、第2番目のアプリケーター3aが、その上部に設けられている溜め21と通じる中空ロッド15aを有しており、この中空ロッド15aがキャップ17a内に設けられている密栓20により密閉されているという点である。

【0027】第2番目のアプリケーターの塗布素子はブ

ラシの形態でなく、中空ロッド15aを通じて溜め21からの毛管作用により供給されるフェルト16aの形態で作られる。

【0028】本発明は特定の具体例に関する構成について述べてきたが、決してそれらに制限されることはなく、その範囲または目的どちらかからはずれなければ、変形および修正をすることができる。

【0029】

【発明の効果】本発明によるメーキャップ製品の保存および塗布装置の容器の開口部は1つとなり、使う人にも使いやすい形状および/または寸法となった。さらに、容器における少なくとも1つの開口部が開いたままであったり、中の製品が乾燥したり、または早期分解したりすることなしに、連続して2つのアプリケーターを使用することができる。

【図面の簡単な説明】

*

*【図1】 本発明による装置の1つの具体例の縦断面図を示す。

【図2】 用いるために別々の位置にある図1の装置の2つのアプリケーターを示す。

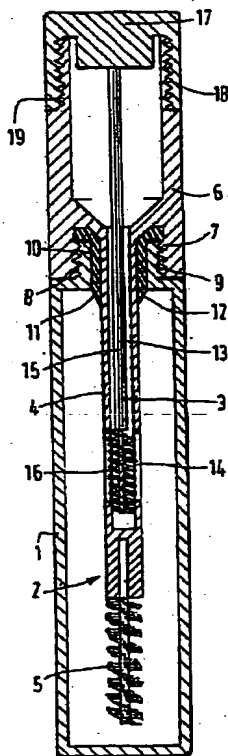
【図3】 その使用のある段階における図1の装置の一部分の破断概略図である。

【図4】 本発明による装置の変型の縦断面図を示す。

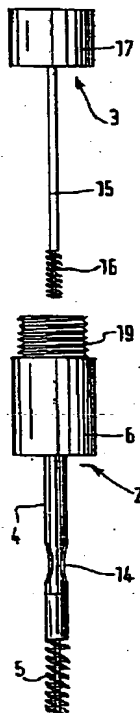
【符号の説明】

1:容器、2:第1番目のアプリケーター、3:第2番目のアプリケーター、4、15:ロッド、5:塗布素子、6:グリップ素子、7、18:めねじ、8、19:おねじ、9:ネック、10:開口部、11:フェルル、12:平頭部、13:中空、14:スロット、15a:中空ロッド、16、16a:塗布素子、17、17a:グリップ素子、20:密栓、21:溜め

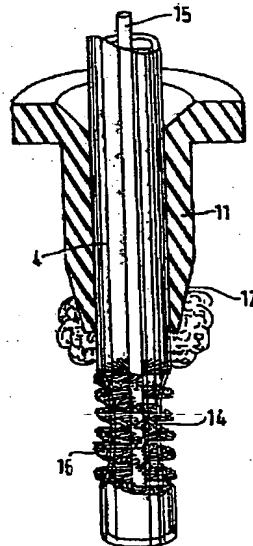
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

